

新型インフルエンザ・ ニュースレター@青森県

19th DECEMBER 2012 Vol2 Issue16

こんにちは、青森県保健衛生課です。
多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございます。
今後も引き続き、『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ対策にもご活用ください。

Inside This Issue

- I. 鳥インフルエンザA/H5N1のヒトへの感染等
- II. 新種のコロナウイルス感染患者、9人となる
- III. インフルエンザの発生状況・研究報告など

I. 鳥インフルエンザA/H5N1のヒトへの感染等

WHOは、12月17日現在の鳥インフルエンザA/H5N1のヒトへの感染などの要約と評価について発表

鳥インフルエンザ(A/H5N1)のヒトへの感染

2003年から2012年12月17日までに、15カ国からWHOに公式に報告された確定患者は610人、うち死亡360人。2012年では確定患者32人、うち死亡20人(内訳はバングラデッシュ(患者3/死亡0)、カンボジア(3/3)、中国(2/1)、エジプト(11/5)、インドネシア(9/9)、ベトナム(4/2))となっています。

△鳥インフルエンザ(A/H5N1)の公衆衛生上のリスク:変更はありません。

変異型インフルエンザ(A/H3N2)への感染

米国では、アイオワ州1人、ミネソタ州1人の計2人の感染患者を確認。ミネソタ州の患者は生きた動物を扱う市場でブタに接触歴がありましたが、アイオワ州の患者はその

ような接触歴はなかったとされています。

△変異型ウイルス(A/H3N2)の公衆衛生上のリスク:米国では、更なる感染患者や小さなクラスター(感染集団)の発生が予想され、発生状況の監視が必要となっています。

http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/HAI_Risk_Assessment/en/index.html

2011年8月～2012年12月7日の変異型A/H3N2患者状況

報告した州	年次患者数	2011年 報告患者数	2012年 報告患者数
ハワイ			1
イリノイ			4
インディアナ		2	138
アイオワ		3	1
メイン		2	
メリーランド			12
ミシガン			6
ミネソタ			5
オハイオ			107
ペンシルバニア		3	11
ユタ			1
ウエストバージニア		2	3
ウイスコンシン			20
合計		12	309

II. 新種のコロナウイルス感染患者、9人となる

WHOは、11月28日にサウジアラビアで1人、30日にヨルダンで2人の新たな感染患者を確認したと発表

○ サウジアラビアの患者は、既に2人の感染患者と2人の発症者を出した同一世帯に住む家族のうちの発症者から確認されたもので、残るもう一方の発症者は「(感染の)可能性例」とされています。

○ ヨルダンの2人の患者は、今年4月に同国ザルカ県ザルカ市の病院で発生した11人の呼吸器感染症のクラスター(感染集団)内の発症者から確認されたものです。

○ これにより発生国が3カ国になったほか、これまでに考えられていたよりも2カ月も早くこのウイルスが出現していたことが示唆されていること、このウイルスがヒトからヒト

へに伝播する可能性が高まっています。

○ これまでに報告された新種のコロナウイルスの感染患者は3カ国、9人(うち死亡5人)となりました。

サウジアラビア:感染患者5人(うち死亡3人)

カタール:感染患者2人(うち死亡0人)

ヨルダン:感染患者2人(うち死亡2人)

http://www.who.int/csr/disease/coronavirus_infections/en/

III. インフルエンザの発生状況・研究報告など

イタリアでは、肺炎で救命救急センターに搬送された子供5人からC型インフルエンザが検出されたと報告

C型インフルエンザは临床上重大な感染症であると考えられていませんが、これによるとC型インフルエンザの重症度はA型インフルエンザに似ているとしています。C型インフルエンザはヒトや豚に感染しますが、A型インフルエンザやB型インフルエンザに比べ感染は稀とされています。

<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/irv.12062/abstract>

無症状の患者でも相当量のインフルエンザウイルス検出

ドイツのベルリン及びミュンヘンで2007～2011年に行われた調査では、発症患者の30%はその症状の発現前にインフルエンザ検査が陽性となり、無症状の患者でも発症患者と同じくらいウイルス放出があるとする報告。

<http://www.plosone.org/article/info%3Adoi%2F10.1371%2Fjournal.pone.0051653>

5年間の分析では、エジプトのH5N1における連続抗原変異が見られる

2007～2011年のエジプト人の患者から分離された鳥インフルエンザA/H5N1ウイルス株の分析では、遺伝子再集合の証拠はほとんどないものの、重要な連続抗原変異が確認されています。エジプトではこの期間中、158人の感染患者が確認されています。

http://wwwnc.cdc.gov/eid/article/19/1/12-1080_article.htm